

# 定例教育委員会会議録

令和3年5月26日

境港市定例教育委員会（令和3年5月26日委員会会議録）

招集年月日 令和3年5月26日 15時30分

---

招集場所 市役所保健相談センター健康相談室

---

開 会 15時30分 教育長宣言

---

教育委員会 教育長 松本 敏浩

---

委 員（職務代理者） 中田 耕治

---

委 員 十河 淳 渡邊 不二子 徳永 由樹

---

教育長から説明のため出席を求められた者

---

教育委員会事務局長 松 原 隆

---

教育総務課長 亀 井 功

---

教育総務課長補佐兼指導係長 柳 樂 力 人

---

教育総務課長補佐兼学事係長 木 下 泰 恵

---

生涯学習課長 松 本 昭 児

---

教育総務課長補佐兼管理係長 足 立 統

---

傍聴者数 なし

---

会議書記 教育総務課長補佐兼管理係長 足 立 統

---

提出議案 議案第20号 境港市公民館運営審議会委員の委嘱について

---

議案第21号 境港市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について

---

協議事項 教育委員会の点検・評価について

---

報告事項 5月の行事報告、6月の行事予定

---

### 【1. 開会】

松本教育長 ただいまから5月の定例教育委員会を始めます。

### 【2. 前回議事録承認】

### 【3. 議事】

松本教育長 本日は議決事項が2件と協議事項、報告事項になります。それでは議案第20号境港市公民館運営審議会委員の委嘱について、事務局より提案をお願いします。

松本課長 議案第20号境港市公民館運営審議会委員の委嘱についてでございます。2ページに委員名簿を掲載しておりますが、一番下の遠藤太一さんを令和3年6月1日から上道公民館運営審議会委員に委嘱をさせていただくものです。前任の足立文子さんが上道公民館主事になられたことに伴い退任されましたので、その補充となります。

松本教育長 ただいまの提案について質問等ありますでしょうか（質問等なし）。それでは議案第20号について、ご承認いただけますでしょうか（異議なし）。続きまして、議案第21号境港市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について、事務局より提案をお願いします。

松本課長 議案第21号境港市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱についてでございます。5ページに委員名簿を掲載しておりますが、5番から11番までの方については、充て職になっており、毎年度ローテーションで変わっておりますので、それに伴う変更になります。12番、13番の方につきましては、それぞれ役職の異動に伴うものになります。任期は令和3年6月1日から令和4年5月31日までとなります。

松本教育長 ただいまの説明について質問等ありますでしょうか（質問等なし）。それではご承認いただけますでしょうか（異議なし）。それでは協議事項に入ります。教育委員会の点検・評価について事務局より説明をお願いします。

足立補佐 教育委員会の点検・評価につきましては、毎年実施すること

が義務付けられており、その結果を議会へ提出するとともに、公表することになっております。詳細については2ページに掲載しておりますが、昨年度からの変更点としましては、学識経験者の知見の活用として、前外江小学校長の森先生に指摘・助言をお願いしております。なお、古徳先生につきましては、昨年度から継続となっております。

松本教育長

委員の皆様には事前に資料を配付しておりますが、ご質問等ありますでしょうか。

中田委員

6ページの学力向上事業・よりよい学級づくり事業の中にあるQU検査について、どのような内容なのか教えていただけないでしょうか。

柳樂補佐

QU検査については、一人一人の学級の満足度等について、総合的に見ていくもので、心理検査になっております。その結果を受けて、分析して学級の状態を見ていくような形になります。

中田委員

どのような設問になっていますか。

柳樂補佐

生活習慣のこと等もあるのですが、大きなところだと、いじめに関することや学校が楽しいかどうかというところになります。

中田委員

記入の仕方はマークシートですか。

柳樂補佐

選択式になっています。

渡邊委員

関連になりますが、学級全体の子どもの傾向性を見ることも大事ですが、教師の学級経営の傾向性を見る上でもとても大事で、子どもが学級の中でのびのびと意見を言えるようなクラスづくりにつなげてほしいと思います。そういう意味では課題の後段にあるように学級経営について校内OJTを進めることは大事だと思いますし、また、新しく先生になられた方々にも情報を共有して、QUやCRT等の結果も活用してほしいと思います。

松本教育長

結果が出て、それを整理しておしまいということでは検査をやっている意味がないので、検査の結果を受けてどういうふうに一人一人に関わっていくのか、学級経営についてどういった点を見直していくのか、そういった改善につなげていくと有効な検査になると思います。生徒指導等いろいろ起こるのですが、起こっている現象だけの報告で終わることがあって、QUテストはどうなっているのかというふうに尋ねて、初めて兆候があったというようなことが見えてきて、これは今日だけの問題ではなくて、今までの生活の中に今日の問題につながることもあるのだろうと、そういったところをみんなで共有するというチャンスができてきますので、非常に重要な検査だと捉えています。

十河委員

英語教育推進事業についてですが、昨年度のGTECの結果で70%以上の生徒が中学卒業段階で身に付けたい英語力に達しているとなっていますので、評価は◎でも良いのではないかと思います。いかがでしょうか。

柳樂補佐

評価いただきありがとうございます。英語教育については、GTEC以外の部分でまだまだ課題があるというところで控えめにしております。

松本教育長

子どもたちの成績の中で「書く」「読む」という力が評価されている一方で、「話す」「聞く」という力についてはまだまだ伸びる要素があります。本市はALTの人数も多く、民間からの派遣もあります。そういったことから、もう少し「話す」「聞く」という力が伸びて、町に出て活かされるようになってもらいたいという期待もしていますので、もう少し高望みしても良いかと思えます。

松原局長

令和2年度に作成した英語教育推進プランに基づいて令和5年度まで事業に取り組んでいるところです。初年度が終わったところで満足することなく、取り組んでいきたいと思えます。

渡邊委員

指導補助員配置事業についてですが、各校2名配置していただいておりますが、具体的な活用の仕方については把握されていますでしょうか。

松原局長 小学校は1年生または低学年、中学校は特別支援学級を中心に各校の実態に応じて支援にあたっていていただいております。

渡邊委員 生徒の指導的なところが中心になってくると思いますが、学力的な部分で、例えば小学校3年生になると急に難しくなったりしますので、そういった部分での配置というのはどうなのかなと思ったのですが。

松原局長 一時的にそういった対応をすることはあると思いますが、県から加配をいただきながら、TTといった指導を行っているところが現状です。指導補助員が今後増員されるようであれば、そういった可能性もあると思います。

渡邊委員 経験年数的には、結構長くされている方が多いですか。

木下補佐 定期的に異動を行っていますので、一つの学校に長くということはないのですが、長い方だと10年以上の方もおられます。

渡邊委員 ある程度経験がないと難しい仕事だと思いますので、バランスよく配置していただければと思います。

十河委員 ICT環境整備についてですが、ハードウェアの部分は概ね整ってきたのかなと思っていますが、年度が変わり、新学期も始まる中で実際に使用するという段階に入っているかと思いますが、現在の本市の状況はいかがでしょうか。

亀井課長 GIGAスクール構想に基づく一人一台端末というところで昨年度からネットワークや端末の整備を進めているのですが、本年度に入り、新しい学年、クラスに変わったというところで4月から新年度の構成での設定作業を委託業者に依頼しており、今月末からでも児童生徒が使えるような状況になりつつある状況です。先生方も含めて、まさにこれからスタートするという状況になっております。

十河委員 米子市は既に授業で使用していて、Classroomでばんばんメールが入ってきているという話も聞いていますので、本市の状況をお聞きしたところです。

亀井課長

本当はゴールデンウィーク明けにでもという話を業者としていたのですが、調整することが多くて、ここに至ってしまったというところです。

十河委員

いきなりそういうのが入ってきて戸惑っておられる先生方もおられると思いますので、できるだけ早くなるようお願いします。

亀井課長

先生方には既に端末を配付しており、学校内でClassroom等使って練習されている方もおられます。先生と子どもが同時にやり取りするというところは、もう間もなくというところです。

柳樂補佐

教職員についてはデジタル教科書の活用も始まっておりまして、学校からも非常に良いという評価をいただいております。アカウント等の設定が終わりましたら子どもたちも使えるということになるので、子どもたち一人一人の課題に応じた学習等を少しずつ進めていきたいと考えております。今月末に情報主任の先生と市教委が集まる会も設定していますので、情報を共有しながら6月以降一人一人が使っていくというところを進めていきたいと考えております。

松本教育長

こういった事業が始まる際にどこの学校もやるのですが、どこまでやれば良いのか、どういうふうに変われば良いのか、そこがしっかり見えていないと、やっているのだけど本当にこれで良いのかと疑心暗鬼になって、だんだん教員が疲れてくるということがあるので、先ずはここまでという感じで設定して、そこで手応えをつかんでもらう方が良いのではないかと思います。主任会等をするのであれば、そういった点も話し合ってもらい、戦略的にやってもらえたらと思います。そのほかありませんでしょうか。

渡邊委員

読書活動推進大会開催事業について、指摘・助言に上がっている「〇〇な一冊」という取り組みは、とても良いアイデアだなと思います。ぜひ進めていただけたらと思います。

松本課長

今年度の読書まつりに向けた図書館連絡協議会の中で、こういった意見があったことは話題にあげたいと思います。

松本教育長

市民図書館は非常に活発な動きをしていて、いろいろなところとネットワークをつないでいるという部分もそうなのですが、いろいろチャレンジしておられて、DARAZ FMに副館長が登場して、図書館の動きや本の紹介等行っております。ラジオだけでなく、ネットでも境港の図書館の動きが発信され、今までになかった動きが展開されていますので楽しみしております。

十河委員

図書館について、現在応援団を募っている状況だと思いますが、その辺りのことを教えていただけませんか。

松本課長

図書館協議会の山本会長をはじめ読書団体の方々が発起人になって立ち上げられたもので、今募集を開始しており、7月頃には応募された方を集めて立ち上げ総会を行い、スタートしたいと考えております。

松本教育長

誰でも入れるということなので、関心があれば是非お願いしたいと思います。

十河委員

海とくらしの史料館のあり方検討委員会開催事業について、公民館でサメの巡回展が行われると思いますが、こういった企画があると興味が膨らみ、実際に海とくらしの史料館まで足を運ぶということにも繋がってくるかと思い、楽しみにしていますが、その辺りはいかがですか。

松本課長

ご存じのとおり、海とくらしの史料館の大池館長が非常にアイディアマンでいろいろ企画され取り組んでおられます。今回はチラシを配るだけではなく、展示物を外に持ち出し見てもらうことで、公民館に来られた方が興味を持たれて、集客に繋がればということで企画されております。集客については、あり方検討会の中でも検討されており、先程話がありました図書館の高橋副館長にリファレンスをお願いして、参考になるような図書を集めてもらった中で、コミュニティーミュージアムというアイデアをいただきました。これは博物館単体で捉えるのではなく、町全体の文化財や史跡、自然等全てを一つの博物館とみなして、その中の一つとして博物館を位置づけるという考えで、その観点でコミュニティーミュージアムをされている島根大学への視察を31日に予定しております。今回のサメ展も

繋がる部分があると感じていますので、大池館長にもアイデアをもらいながら、コミュニティーミュージアムという視点での今後のあり方というところもキーワードになってくるかなと考えております。

渡邊委員

いろいろなところで、直接触ったり、作ったりするという体験というところがメインになってきつつあるので、準備等大変な部分も多いと思いますが、体験型というところも視野に入れていただけたらと思います。

松本課長

ハクセイが飾ってあるだけというやり方で、そこに手を入れただけでは解決にならないと思いますので、例えば館長さんのお話を聞きながら見るとか、館内で見た魚を実際に市場へ見に行く等、体験していただくというやり方がすごく大事だと思います。そのためには職員だけでは限界がありますので、地域のボランティアの方も巻き込んで進めていく必要があるかなとも考えております。

松本教育長

図書館のような応援団ができたり、ネットワークが広がっていくと良いと思います。水産関係は非常に熱心な方が多くて、我々以上に海とくらしの史料館に関心を持っておられて、もっと工夫すべきでないのかという熱い意見もいただいておりますので、そういった方が応援団になってくだされば力強いですね。

中田委員

実施状況のところ「ハクセイが系統的に展示されていないので見直してほしい」という意見がありますが、そもそもの話として、ハクセイで良いのか、命があるものと亡くなったものでは違いが大きくて、実際見た時にハクセイはハクセイであって、何か別の、表現的にももっと生き生きとしたものができるのかなと思います。映像等もっと生き生きとした姿が見れるようなもの、先程話があった市場もそうだと思いますが、そういったものの方がより身近に感じられるかなと思います。例えば、鳥だとハクセイになってしまったものより、バードウォッチングで生きている姿を見た方がより身近に感じられますので、その辺りがどうかなと思います。

松本教育長

同じようなご意見もあり方検討会の中でいただいております

ので、そういったことも含めて今後どうして行くのかしっかり議論していきたいと思います。そのほかいかがでしょうか。

中田委員

小・中学校就学援助費について、検討事項に「現在の認定基準が妥当であるかどうか」とありますが、昨年も同じように上がっていて、毎年検討事項として変わらずに上がっていることがどうなのか、今後どのように取り組んでいくのか指針のようなものが示せると良いのかなと思います。また、指摘事項のところ「他市にない取り組みであり、今後も継続してほしい」とありますが、なぜ他市は実施していないのか、その辺りの状況はいかがでしょうか。

亀井課長

指摘事項にある他市にない取り組みというのは給食費の減免のことを指しています。他市は7割または3分の2の免除なのですが、本市は全額免除としております。課題・問題点については、生計を一にしている方の公的な証明を基に基準に則して判定しているのですが、そこは申告上でしかなく、ズルを疑うわけではないのですが裏付けるものがありません。そこを公平公正といった面でどのようにしたらきちんと審査できるかというところで、納得のいく答えが出せないところがあって、これが来年解決するかというとなかなか難しいところがあるのですが、そういったことで上げさせてもらいました。

松本教育長

給食費についてはいろいろな意見があって、給食は教育であり教材である、教材であれば無償ではないかというような指摘をされる場合もあります。そういった部分で線引きが難しいテーマだと思います。そのほかいかがですか（質問等なし）。それでは報告事項に入ります。教育総務課からお願いします。

#### 【4. 報告事項】

《教育総務課 生涯学習課 行事等報告》

松本教育長

ただいまの説明について質問等ありますでしょうか（質問等なし）。

#### 【5. 閉会】

松本教育長

それでは議題は終了しました。本日の定例教育委員会は閉会

といたします。ありがとうございました。